

令和2年度学校評価 最終アンケート結果及び改善案

【職員結果】

＜評価が上がった項目＞

- 中間結果よりほとんどの項目で評価が向上し、大幅に評価が向上した項目は次の3項目である。
 - ・ 1「就労につながる指導内容の精選・改善」、2「職業自立・社会自立に必要な力を身に付けるための指導」は、中間結果より評価4が更に向上し、職員の約6割が評価4（そう思う）と回答している。キャリア教育の充実が図られていると考えられる。
 - ・ 23「業務改善」は、中間結果ではやや低めの評価だったが、最終では評価2（あまりそう思わない）が減少し、職員の約8割が評価4、3と回答している。課題の改善に向けて、各係で取り組んだ結果と考えられる。

＜評価がやや低かった項目＞

- 評価4（そう思う）がやや低かった項目として、8「交流及び共同学習」、14「道德教育」、23「業務改善」の3項目が挙げられる。

＜改善案＞

- 8「交流及び共同学習」は、コロナ感染拡大防止のため、今年度は1年生の東高との1回のみの実施だったので、来年度は状況を見ながら実施していく。
- 14「道德教育」は、各学年で指導内容について検討したことで、中間結果より評価3が約12%向上したが、今後も今回の結果を基に指導内容を更に検討し、教育活動全体を通じて指導を行う。
- 23「業務改善」については、校内で改善できる内容については、引き続き各係で検討を行い、改善を図る。

【生徒結果】

＜評価が上がった項目＞

- 学年で評価に差があった。・1年：4「交流」（+4）、8「相談できる人」（+1）
 - ・2年：2「授業の工夫」（+1）、5「進路」（+1）、10「評価」（+1）
 - ・3年：1「働く力の指導」（+1）、6「教室等の安全性」（+3）

＜考察＞

- 1年生にとって、東高校と合同で実施するはじめての学校行事であった体育祭の実施が要因として考えられる。2年生は卒業を見据えた内容について触れることが多くなり、進路についての情報を主体的に捉えようとする生徒がより増えたことが考えられる。また、3年生は「いじめの実態調査アンケート」結果より先生方が解消のため早期に対応されたことが要因の一つとして考えられる。

＜評価が低かった項目＞

- そう思う・ややそう思うの回答率が8割以下だった項目は、4項目であった。4「交流」（49%）、7「命や思いやり」（77%）、8「相談できる人」（72%）、9「相談室」（71%）。

＜改善案＞

- 4については現状を踏まえるとこれまでの形での実施が難しいため、実施方法や質問内容の検討が必要か。8、9については割合がほぼ同じであることから相関関係が期待できそうなので、相談場所の周知方法を生徒会からの伝達に加え、掲示等も含めて検討する。

【保護者結果】

＜評価が上がった項目＞

- 13「PTA活動の参加する中で、情報収集をしていますか」について、4又は3の評価をつけている人が増えた。

＜評価がやや低かった項目＞

- 今回も全体として極端に低い評価はなかったが、9「性に関する指導」に関する事項について「0判断できない、よく分からない」の回答に増加がみられた。

＜改善案＞

- 「性に関する指導」については、12月に保護者へ学校の取組を伝え、感想等を保護者よりいただくことができた。今後も学習後に保護者へ周知できる取組を行う。
- 来年度もPTA活動に多くの保護者に参加していただけるように、感染症対策の工夫や改善をする。
- 「進路情報」や「卒業後の生活」など保護者の皆様にとって役立つ研修会を計画し、1ヶ月前には案内を配布する。
- アンケートの回収率が昨年より減っていることから、保護者アンケートの実施方法を検討する必要がある。